

みらい



青梅市青少年委員協議会

副会長 天野俊寿

「みらい」、この広報紙のタイトルでもあります。皆さんは「みらい」(もちろん未来ですよ)という言葉にどんなことを思い浮かべますか？私達は常に未来にしか出会うことはできません。「今」は瞬時に過去になってしまいます。そして外的要因ももちろんありますが、未来は自分でデザインすることが出来ます。子どもたちは真っ白で大小さまざまな未来という箱を持っています。その箱に自らが色を塗りデザインするために「仮想」では無い「体験」や「たくさんの人とのふれあい」が大切であると私は信じています。

さて、青梅市には十六名の青少年委員が青少年の健全育成を目的に種々活動をしています。活動は委員個々あるいはチームで行うものがあるなかで、子どもたちの体験活動のお手伝いもあります。委員はそのために必要な知識を得るための研修や多摩地区の他の青少年委員組織との意見交換も重ねています。

青少年をとりまくさまざまな環境はここ十数年で劇的に変化し、多種多様な情報が容易に手に入るようになりましたが、そのなかでも体験は重要な情報のひとつです。青少年委員が携わっている体験事業の中には高校生から小学生までが一緒に活動するものもあります。このような普段得ることの出来ない体験も子どもたちが未来をデザインするための情報のひとつではないかと思えます。

体験の最大の提供源は家庭であり、地域・学校であることは言うまでもありませんが、私達青少年委員も異なる視点の体験活動を通じ、未来デザインのお手伝いのできたらと思っています。

「集まれおうめっ子」 ～食の巻き～10月31日(土)

インフルエンザの影響があっただけ、やや少なめでしたが、市内の小学生18名が沢井市民センターに集まりました。今日は地元(成木)で採れた小麦粉を使って、普通の白いうどん・ほうれん草を入れた緑色のうどん・かぼちゃを入れた黄色のうどんの「3色うどん」を作ります。



と、先生に教わりながら皆上手にできました。

最後はグラウンドで「流しうどん」です。自分で作った「うどん」の味は最高!美味しくいただきました。みんな『将来はうどん屋さん?』の顔でした。

青少年委員研修 11月28日(日)

紅葉真っ盛りの高尾の森わくわくビレッジでPA研修会を行いました。PAことプロジェクト・アドベンチャーは、アドベンチャーの手法を用いた体験学習プログラムです。



様々なゲーム、アクティビティを通じてグループの信頼関係を築くことで、個人の挑戦、成長を支えられるグループ作りをしていくものです。

プログラムのひとつ、ロープスコースでは8~15mのポールにケーブルやロープが取り付けられているエレメントによじ登ります。これは、参加者全員が協力し力を合わせないと達成できません。頂点に到達した時の感動は何ともはかり知れないものがありました。

今回のPA研修会を通して、青少年委員同士の信頼関係を築くことができ、実りある研修会となりました。

活動の紹介

親子ふれあい綱引き大会 2月14日(日)

青梅市総合体育館で第8回青梅市親子ふれあい綱引き大会が開催されました。95チーム、約2,000名が参加し、ホットな試合を繰り広げました。毎試合、各チームの応援団が会場を揺るがすかのような応援合戦を繰り広げ、大会は大いに盛り上がり観戦している方も自然と力が入ってしまいました。

青少年委員協議会では、「昔あそびコーナー」を担当し、参加している子供たちと一緒にひもと厚紙を使ったブンブンゴマの工作やコマ、けん玉、ベーゴマ遊びをし、たくさんの子供たちとふれあうことができました。

本大会の目的でもある「子どもと大人と一緒にふれあう」ことができ、貴重な楽しい時間を共有することができました。



おめでとうございます! ~青梅市優良青少年団体~

平成21年度青梅市優良青少年団体として下記の4団体が表彰されました。

- 富士美子供会
- 早道子供会
- 下郷子供会
- 山百合子供会



表彰式は2月14日に行なわれた親子ふれあい綱引き大会の会場で行なわれました。

成人式 1月11日(月)

青梅市総合体育館で晴れ姿の新成人1163名が出席して成人式が行われました。今年からは全員が平成生まれ、皆厳かに祝辞を受けました。

今まで、地域・家庭から見守られていた皆さん、今日からは大人として責任ある言動・行動が求められます。これからの人生、楽しいこと、苦しいこと、辛いこと、いろいろあるでしょう、そんなさまざまな経験を積み重ねていき、社会・地域を支えていくような大人になってください。

皆様の未来が輝かしいものとなりますよう願っています。



～～青少年委員はこんな活動をしています～～

青梅市青少年委員は各小学校より選出された委員 16 名で構成され、活動をしています。

年間の活動予定（平成21年度）

- ・ます釣りにチャレンジ（自主事業）
- ・各市民センターのジュニアキャンプ指導
- ・親子ふれあい綱引き大会(昔遊びコーナーを担当)
- ・集まれ！おうめっ子の指導
- ・成人式への協力

その他、子供会活動・PTA活動・各市民センターのお手伝いもしています。お気軽にお声がけください。

青梅市青少年委員名簿

氏名	担当小学校・市民センター	氏名	担当小学校・市民センター
吉 永 尚 生	一小・青梅市民センター	島 田 睦 巳	河辺小・河辺市民センター
吉 原 人 志	二小・長淵市民センター	吉 野 康 一	新町小・新町市民センター
本 橋 利 晃	三小・大門市民センター	松 島 三 枝 子	霞台小・大門・新町市民センター
平 原 直	四小・東青梅市民センター	篠 辺 浩 美	友田小・長淵市民センター
天 野 俊 寿	五小・梅郷市民センター	潮 田 茂 男	今井小・今井市民センター
島 田 広 之	六小・沢井市民センター	加 藤 孝 枝	若草小・河辺市民センター
水 村 一 好	七小・小曾木市民センター	永 澤 正 弘	藤橋小・今井市民センター
川 口 寛	成木小・成木市民センター	浜 中 成 実	吹上小・東青梅市民センター

f

＜編集後記＞ “藍染が自分でできる！”

藍染は難しいと思いませんか？でも自宅のできるのです！私達青少年委員は第3ブロック研修会で体験しました。まず染める綿の布に割り箸やボタン、輪ゴム等を使って工作をします（模様作り）。その後染料作りです。種を蒔いて育てた“藍”の葉を摘み取り水洗い、包丁で刻んでミキサーに、少量の水を加えて粉碎したら濾し絞ります。そこへ魔法の液（苛性ソーダとハイドロサルファイト）を加えかき混ぜます。数分して泡だってきたら染料液の完成！そこに染める布を入れて空気に触れさせながら染めていきます。まんべんなく染めたら干します。すると時間がたつにつれ藍色に変色してくるのです。それをよく水洗いして干すと…あら不思議！色がだんだん変わりとてもきれいな藍染めが完成しました。時間や混ぜ方によって微妙に出来上がりの色が違ってきます。自分だけの藍染…挑戦してみませんか？ 興味のある方はぜひ青少年委員までお尋ね下さい！（広報部 島田む）



編集 青梅市青少年委員協議会
発行 青梅市教育委員会社会教育課
青梅市東青梅 1-177-1
Tel 0428-22-1111

平成21年度後期の活動事例の紹介です。
「みらい」への御意見・御要望をお待ちしております。

〒198-8701 青梅市東青梅 1-177-1
青梅市教育委員会社会教育課 「青少年委員担当」まで



古紙配合率100%再生紙を使用しています